

選考結果報告

1) 和文：該当者なし

2) 英文：神戸大学医学部附属病院病理診断科 川上 史

論文名 Cytologic Features of Gastric-Type Adenocarcinoma of the Uterine Cervix.

3. 各種選考に際し、規定以外に選考方法に関する具体的な内規を作成中である。
4. 学術集会のあり方を検討するワーキンググループを学術委員会内に設置する。
5. 国際病理アカデミーから学術委員の推薦依頼があり、本学会からは中村直哉理事を推薦した。
6. 春期大会・秋期大会の学術集会運営要項の作成することが決定し、その方向性で進んでいる。

〔審議事項〕

特になし

計理委員会（委員長 岡本 愛光）

〔事業計画・報告事項〕

1. 平成 27 年度日本臨床細胞学会監査会について
2016 年 4 月 15 日(金) 計理委員長，理事長，監事，中田ちず子会計士のもと監査会が行われ、日本臨床細胞学会の会計について適正に運用されていることが確認された。
2. 平成 27 年度収支概要について
繰越金額は 11,476,374 円となり全体的には黒字であるが、日本臨床細胞学会・細胞診専門医会・細胞検査士会を単体で見ると日本臨床細胞学会が-4,842,683 円の赤字となった。
支出面では、ICC2016 開催のため、積立していた 2,000 万円の負担があったが、収入面で、医歯薬出版株式会社(細胞検査士細胞像試験問題集)、金原出版株式会社より印税が入ったこと、また春期大会・秋期大会より大会戻し金が多く戻ってきたことで赤字幅が少なくなっている。
赤字対策として今後支出および事業運営を見直し、学会の運営が正常になるよう対策を考えていきたい。
3. 経理基準の作成について
現在、会計運用に関する計理基準がなく、NPO 法人からの作業に合わせて会計運営を続けている。公益社団法人になり運用の根拠をはっきりさせるために、経理基準を作成し、平成 28 年度の予算案より新規定に合わせて正常な運営が出来るように準備していく予定である。

〔審議事項〕

1. 職員の退職金規定の作成について

経理基準について、まず職員の退職金規定を作成することが提案され承認された。次回の理事会までに計理委員会にて退職金規定案を作成し、次回理事会の審議事項とすることが決定した。

2. 平成 27 年度決算案および事業報告について

平成 27 年度決算案および事業報告については、3. 審議事項にて審議する。

編集委員会（委員長 竹島 信宏）

〔事業報告・報告事項〕

1. 2016 年日本臨床細胞学会雑誌 55 巻 1 号・2 号の発刊.
2. 評議員申請における査読義務に伴い, Editorial Manager へ登録人数の上限の確認.
3. 2016 年投稿論文
新規：2 件
採択率：6.9 パーセント

〔審議事項〕

1. 図書館員と Acta Cytologica への編集委員会の提案

全図書館員に本学会誌のパスワードを教えることが編集委員会内にて審議・決定したとの報告があり, 承認された. また, Acta Cytologica の日本代理店である KARGAR 社から提案された優先レートでの購買促進について, 編集委員会内にて審議・決定したとの報告があり, 承認された.

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 28 年度細胞診専門医資格認定試験

平成 28 年 11 月 27 日(日)に「AP 浜松町」で施行予定. 筆記試験問題 25 問, 細胞像試験(カラープリント)問題 25 問の 50 問(50 点)とガラス鏡検問題 50 点の合計 100 点. 医師は全て総合科に統一. 歯科医師はガラス鏡検問題のみ歯科口腔領域を選択. 昨年に引き続き, マークシート方式を採用.

2. 平成 28 年度細胞診専門医資格更新

平成 28 年度細胞診専門医資格更新対象者ナンバーは, 774-899, 1171-1241, 1447-1509, 1711-1797, 2160-2274, 2578-2672, 2962-3051, および歯科医師会員 8001-8017. 細胞診専門医会出席義務廃止, クレジット重視, 本法人学術集会(春期・秋期)2 回以上出席要, 次回更新は 5 年後.

3. 新規セミナー・ワークショップ等の企画

4. 更新期間変更にともない更新料の変更

〔審議事項〕

植田副理事長より, 指定講習会・セミナーに参加できなかった際の e-learning での DVD

研修の設問・回答作成委員会を細胞診専門医委員会内に設置し、早急に問題・回答の作成を進めて欲しいとの要望があった。

施設認定制度委員会（委員長 長尾 俊孝）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成 27 年度認定施設年報提出依頼(締切 2016 年 3 月 31 日)
2. 平成 27 年度教育研修施設年報提出依頼(締切 2016 年 6 月 30 日)
3. 平成 28 年度認定施設更新作業. 対象施設 59 施設. 事務局にて更新作業中.
4. 平成 27 年度認定施設新規申請募集実施. 申請施設 7 施設. 当該委員会にて申請内容を審査し認定を決定する予定.
5. 平成 28 年度教育研修施設更新作業. 対象施設 6 施設. 更新案内送付済.
6. 平成 28 年度教育研修施設新規申請募集. 締め切り後, 当該委員会にて申請内容を審査し認定を決定する予定.
7. 外部精度管理(コントロールサーベイ)は外部精度管理ワーキンググループの下で, 問題作成委員会を 7 月末に開催し 2016 年秋に実施予定.
8. 内部精度管理(実地調査)は内部精度管理ワーキンググループの下で, 新規認定施設および年報未提出施設などから 3 ないし 4 施設を選択し, 2016 年 9 月頃実地調査を行う予定. 結果は理事会にて報告予定.
9. 平成 26 年度の年報集計結果をホームページ上に掲載済み.

〔審議事項〕

1. 施行細則と申し合わせ事項の変更について
資料に沿って施設認定に関する施行細則の改定案が提示され, 施設認定・教育研修施設認定とも認定期間を 5 年とすることが提案され, 承認された. 施行細則は, 本日一部改定とし, 平成 28 年度の新規および更新施設より開始することとなった. また, 申し合わせ事項として, 施設認定・教育研修施設認定とも年報の記載期間を 1 月 1 日~12 月 31 日に統一すること, 新規申請の締め切り期間を 3 月 31 日に統一することが承認され, 平成 29 年度以降の新規および更新申請施設より開始することとなった. なお, 更新料については教育研修認定施設からも徴収する方向性は承認されたが, 開始時期, 金額等の詳細については今後の検討事項となった.
2. 施設認定および教育研修施設認定の年度数について
新規申請の年度数について, 以前は施設認定の場合は申請年度の前年度分(平成 28 年度申請であれば平成 27 年度分)と, 教育施設認定の場合は申請年度分(平成 28 年度であれば平成 28 年度分)とされていたが, いずれも申請年度分として統一することが確認された.

細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

〔事業報告・報告事項〕

1. 2016年CT(IAC)資格認定試験
2016年5月28日(土)にパシフィコ横浜において実施する。
2. 平成28年度(第49回)細胞検査士資格認定試験
1次試験は2016年10月29日(土)にCIVI研修センター新大阪東において実施予定。
2次試験は2016年12月10・11日(土・日)に東京富士大学において実施予定。

〔審議事項〕

1. 細胞診検査士資格更新に伴う更新手数料の変更について
資料に沿って、細胞検査士の資格更新期間が4年から5年に変わることに伴い、更新手数料を現行の3240円から4500円に変更することが提案され、承認された。また、更新手数料の変更は今年度より開始することが確認された。
2. 大会時の細胞検査士の受付の変更について
大会受付時の簡略化のため、本年度の春期大会に準じて細胞検査士の受付方法を「会員カード」または「検査士カード」のバーコード読み取りに変更すること、紛失された検査士のために再発行ブース設置し有料にて提供すること、当日カードを忘れた検査士は手書きでの登録を行うことが提案され、承認された。

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

〔事業報告・報告事項〕

1. 平成27年度 細胞検査士資格更新者(ピンク・カード)
全更新対象者数：1507人
更新完了者：1418人(94.1%) 条件付き更新完了者：23人 保留更新者：3名
未申請：10人 更新辞退・退会者：31人 資格失効：1人
更新未完了者：19人(再提出・未入金等) 宛名不明：2人
2. 平成28年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー(グリーン・カード)
0138～0194, 0364～0439, 0760～0912, 1147～1353, 2068～2258, 2913～3119,
3932～4209, 4942～5134, 5813～6050, 6574～6748, 7450～7685, 8318～8612
更新予定者：1819人
※ 2017年2～3月に更新審査予定
3. 細胞検査士の地域連携組織への所属状況について
委員会内調査より、99.3%の細胞検査士は各地域連携組織へ所属していることが報告された。

〔審議事項〕

特になし